

創造性が都市を変える「横浜クリエイティブシティ国際会議 2009」 国内外先進のアイデアが9/4～6「ヨコハマ」に集います！

クリエイティブシティ・ヨコハマを都市ビジョンに掲げる横浜市は、9月4日(金)～6日(日) 関内ホールなどの会場で、「横浜クリエイティブシティ国際会議 2009」を開催します。

この会議では、国内外から市民、NPO、大学など多様な担い手が横浜に集い、新たな人材育成やまちづくり、経済の活性化など創造都市「ヨコハマ」の今後の可能性について議論します。

なお、幅広く市民の方々をご参加いただけるよう一部のプログラム(9/4と9/6)を無料聴講可としました。会議の見どころ・聴きどころとともに、ぜひ貴社媒体でご紹介いただきたくお願いいたします。

【会議プログラム】 ※ 詳細については別紙リーフレットをご覧ください。

- ・ 1日目 9月4日(金)基調講演 パネルディスカッション1 【無料聴講可】
- ・ 2日目 9月5日(土)各分科会 【有料】
- ・ 3日目 9月6日(日)パネルディスカッション2[首長会議]、まとめ・会議宣言 【無料聴講可】

■ 創造都市に未来はあるか？ 21世紀の都市ビジョンとは？

イギリスの「創造都市研究」の第一人者ピーター・ホール氏(ロンドン大学バートレット校教授)が、会議オープニングの基調講演に登場。世界的な経済の低迷期を迎えた今、都市が市民にインパクトを与えるために、何が必要か。世界中のメガシティの都市計画を知り尽くしているホール氏が、横浜など「創造都市」を標榜する都市の進むべき道を示します。

基調講演に続いて、建築家の伊東豊雄氏、前文化庁長官の青木保氏、立命館アジア太平洋大学学長のモンテ・カセム氏を交えて、パネルディスカッションを行います。

◎ 基調講演「創造性が都市を変える」9月4日(金)13:45～15:00、

パネルディスカッション1「社会システムとその変革」15:30～18:00 関内ホール(大ホール)



ピーター・ホール氏



伊東豊雄氏

無料聴講可

新しい発想や文化の力は、都市のイメージを変革し都市の再生につながるアクションとなるか。

「きっかけは、フジテレビ」のキャッチコピーでおなじみ、話題性のあるCMを次々と手掛けるクリエイティブディレクター・箭内道彦氏、横浜を代表するグラフィックデザイナー・中川憲造氏など各界のトップクリエイターが「ヨコハマ」のイメージづくりに挑みます。

◎ 分科会Ⅱ-1「都市の文化とイメージ戦略」10:00～13:00 ヨコハマ・クリエイティブシティ・センター1Fホール・有料



箭内道彦氏(上) 中川憲造氏(右)



新たな都市のビジョン—文化の空間戦略を知る 今年のロッテルダム国際建築ビエンナーレでキュレーターを務めるケース・クリスチャンス氏(スイス連邦工科大学チューリッヒ校建築学科教授)を招きます。大きく変貌する都市のビジョンにおける文化の空間戦略、未来「ヨコハマ」の都市ビジョンを議論します。◎ 分科会Ⅲ-2「文化の空間戦略」14:30～17:30 横浜市開港記念会館(講堂)・有料



横浜市は次のプロジェクトにより、文化・芸術による都市づくりを進めています。

ナショナルアートパーク構想 | 創造境界の形成 | 映像文化都市 | 横浜トリエンナーレ

創造の担い手育成

<http://www.city.yokohama.jp/me/keiei/kaikou/souzou/index.html>

クリエイティブシティ

検索



Creative City
International
Conference
2009 in
Yokohama



■ 地域再生・担い手育成の新たな潮流

貧困・雇用問題などさまざまな社会・地域問題に立ち向かう、新しい担い手による活動の手法とは。

韓国、ネパールなど各国地域の課題に対し創造的な手法で解決をめざす活動家を招き、活動が生まれてくる環境や仕掛けを紹介します。イギリスからは英国各地のホームレス支援センターで、ホームレスの人々を対象に音楽ワークショップを実施している英国のアート団体「ストリート・ワイズ」から代表者の**マット・ピーコック氏**が参加。◎ 分科会Ⅲ-1「コミュニティ再生とクリエイティビティ」10:00~13:00 横浜市開港記念会館（講堂）・有料



マット・ピーコック氏

楽しく、豊かで、満足のいく「学び」「教育」の新しいカタチとは？

地域密着型の新しい教育のカタチを「遊ぶのにいちばん楽しい街」である「渋谷」で実践し、大きな成果を上げている「シブヤ大学」学長・**左京泰明氏**を招きます。海外の先進的事例も紹介しつつ今後の社会を担う新たな人材育成の仕組みについて議論します。◎ 分科会Ⅰ-1「学びのカタチを創造する」10:00~13:00 ヨコハマ・クリエイティブシティ・センター 3F スペース・有料



左京泰明氏（撮影 oyabin SATO）

コンパクトで持続可能な社会を、デザインの力や技術革新によって実現しようとする

「地域の産業」にスポットを当てる。人・地域・地球の健康を指向する新しい価値観 LOHAS（ロハス）の考えに基づき、活動を行っている**大和田順子氏**（LBA 共同代表）、世界規模のデザイン振興の企画・プロデュースを手がける**キュー・リーメイ・ジュリヤ氏**（財団法人日本産業デザイン振興会理事）らを招き、発想の転換と創造性を原資とする産業の可能性を議論します。◎ 分科会Ⅱ-2「地域の産業とデザインの可能性」14:30~17:30 ヨコハマ・クリエイティブシティ・センター 1F ホール・有料



大和田順子氏

■ アートの挑戦—アートは「街」をどう変えていくのか

「創造界限」をご存知ですか？—横浜市の最初の創造都市政策として 2006 年にスタートした「創造界限の形成」事業は、**BankART1929**、**BankART Studio NYK**、**ZAIM**、**急な坂スタジオ**、**黄金町バザール**など、アート NPO など民間の主体が行政とのパートナーシップによってさまざまなアートプロジェクトを仕掛け、横浜都心部に賑わいと魅力を生み出してきました。この取組を再評価し、今後どのように持続・発展させていくのか、シンガポールから**コリン・ゴー氏**（旧国会議事堂チーフエグゼクティブ）、台北から**マーガレット・シュー氏**（バンブー・カーテン・スタジオ ディレクター）らアジアのオルタナティブ・アートスペースの代表者も交えてラウンドテーブル方式で議論し、課題の共有をはかりネットワークの形成を目指します。

◎ 分科会Ⅰ-2「アートイニシアティブの未来を語る」14:30~17:30 ヨコハマ・クリエイティブシティ・センター 3F スペース・有料



BankART Studio NYK



ヨコハマ・クリエイティブシティ・センター

横浜市は次のプロジェクトにより、文化・芸術による都市づくりを進めています。

ナショナルアートパーク構想 | 創造界限の形成 | 映像文化都市 | 横浜トリエンナーレ | 創造の担い手育成

<http://www.city.yokohama.jp/me/keiei/kaikou/souzou/index.html>

クリエイティブシティ

検索



Creative City
International
Conference
2009 in
Yokohama



■ 会議概要

日 程：2009年9月4日(金)～9月6日(日)

会 場：関内ホール 横浜市開港記念会館 ヨコハマ・クリエイティブシティ・センター

主 催：横浜クリエイティブシティ国際会議 2009 実行委員会 横浜市（公財）横浜市芸術文化振興財団
創造都市横浜推進協議会

共 催：プリティッシュ・カウンシル

参加料：一般 3,000 円 学生 2,500 円

※次の①②のプログラムにつき無料聴講可としました。ぜひご利用ください！

無料聴講お申込のお客様には、会議資料配付を行いません。あらかじめご了承ください。

① 9月4日(金)「基調講演」および「パネルディスカッション1」

② 9月6日(日)「パネルディスカッション2」および「全体会」

申込み：本会議公式サイトで受付 www.yaf.or.jp/creativecity/ccic/ 8月21日(金)15:00まで

申込問合わせ：「横浜クリエイティブシティ国際会議 2009」参加申込事務局 (株)サイマルインターナショナル内

TEL 03-3524-3133 FAX 03-3524-3135

記事問合わせ：横浜クリエイティブシティ国際会議 2009 実行委員会事務局 花形・森 045-641-6828

クリエイティブシティ・ヨコハマとは

平成16年より横浜市では「港の囲む独自の歴史や文化」を活用し、芸術や文化のもつ「創造性」を活かして、都市の新しい価値や魅力を生み出す都市づくり「文化芸術創造都市＝クリエイティブシティ・ヨコハマ」を進めています。文化芸術、経済の振興と横浜らしい魅力的な都市空間形成というソフトとハードの施策を融合させた新たな都市ビジョンを推進しています。平成20年には「文化庁長官表彰」文化芸術創造都市部門第1号を受賞。

クリエイティブシティの目標

- I. アーティスト・クリエイターが住みたくなる創造環境の実現
- II. 創造産業の集積による経済活性化
- III. 魅力ある地域資源の活用
- IV. 市民が主導する文化芸術創造都市づくり

クリエイティブシティ 実現への5つのプロジェクト

- I. 都心臨海部を中心とした観光交流拠点形成や創造的産業の集積を進める「ナショナルアートパーク構想」
- II. アーティストやクリエイター等が創作・発表・滞在（居住）するまちの活性化を図る「創造境界の形成」
- III. 今後の成長が見込まれる映像・コンテンツ系産業の新産業の創出や経済活性化を目指す「映像文化都市」
- IV. 3年に1回開催される日本を代表する国際現代美術展「横浜トリエンナーレ」
- V. 上記4つのプロジェクトを支える「創造の担い手育成」

開港150周年の本年は、「横浜クリエイティブシティ国際会議2009」の開催など更なる創造都市ネットワークの形成に力を入れております。

横浜市は次のプロジェクトにより、文化・芸術による都市づくりを進めています。

ナショナルアートパーク構想 | 創造境界の形成 | 映像文化都市 | 横浜トリエンナーレ | 創造の担い手育成

<http://www.city.yokohama.jp/me/keiei/kaikou/souzou/index.html>

クリエイティブシティ

検索